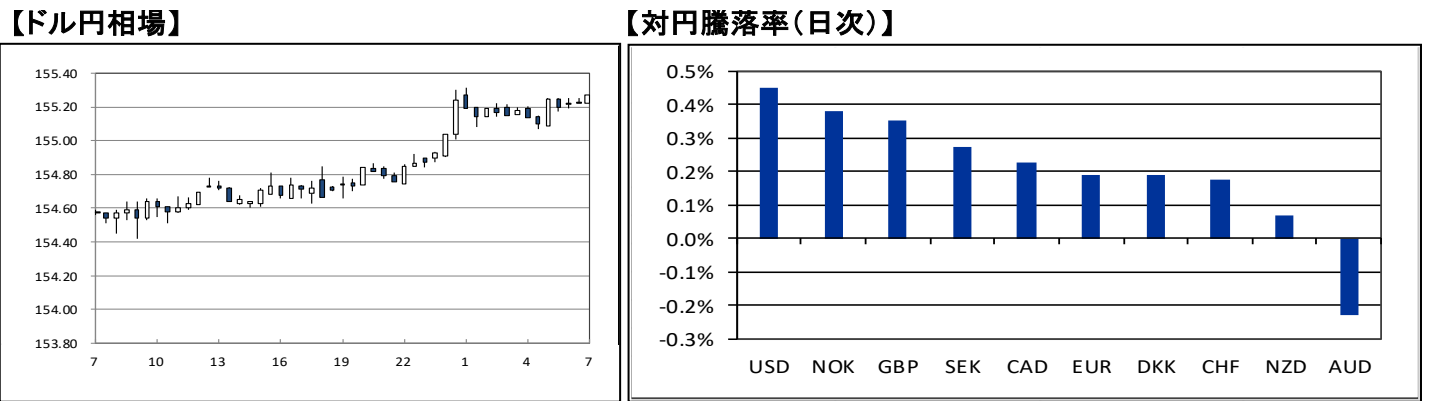


【昨日の市況概要】				公示仲値	154.70
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	154.59	1.1615	179.55	1.3156	0.6533
SYD-NY High	155.31	1.1625	180.01	1.3191	0.6537
SYD-NY Low	154.43	1.1582	179.26	1.3138	0.6482
NY 5:00 PM	155.27	1.1593	179.92	1.3157	0.6492
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	46,590.24	▲ 866.98	日本2年債	0.9300%	0.0000%
NASDAQ	22,708.07	▲ 192.52	日本10年債	1.7300%	0.0300%
S&P	6,672.41	▲ 61.70	米国2年債	3.6133%	0.0074%
日経平均	50,323.91	▲ 52.62	米国5年債	3.7284%	0.0000%
TOPIX	3,347.53	▲ 12.28	米国10年債	4.1376%	▲0.0116%
シカゴ日経先物	49,830.00	▲ 660.00	独10年債	2.7122%	▲0.0039%
ロンドンFT	9,675.43	▲ 22.94	英10年債	4.5325%	▲0.0415%
DAX	23,590.52	▲ 286.03	豪10年債	4.4740%	0.0450%
ハンセン指数	26,384.28	▲ 188.18	USDJPY 1M Vol	8.98%	0.20%
上海総合	3,972.03	▲ 18.46	USDJPY 3M Vol	9.09%	0.04%
NY金	4,074.50	▲ 19.70	USDJPY 6M Vol	9.30%	0.03%
WTI	59.91	▲ 0.18	USDJPY 1M 25RR	▲0.84%	Yen Call Over
CRB指数	301.64	▲ 0.70	EURJPY 3M Vol	7.67%	▲0.03%
ドルインデックス	99.53	0.23	EURJPY 6M Vol	8.15%	0.01%

東京	東京時間のドル円は154.59レベルでオープン。株式市場の軟調な値動きを横目に上値の重いスタートとなったが、高市政権での財政拡張を意識した円売りもあってか、午後には154.81まで上昇。一巡後、154.73レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ドル円は154.73レベルでオープン。日本の首相による台湾に関する発言を受け、中国と日本の緊張は高まり続けているが、このヘッドラインによる市場への影響はほとんどなく、USDJPYは154.63から154.86の狭いレンジでやや上昇し、154.85レベルでNYに渡った。英国では、リープス財務相が所得税引き上げ計画を撤回したとの報道を受け、今後の予算発表に市場の注目が集まっている。
ニューヨーク	NY市場のドル円は朝方に発表された米11月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を上回ると、米金利の上昇を背景に買いが優勢となり、155.31まで上昇。しかし、その後は伸び悩み、155.10付近まで反落。午後は新規材料乏しい中、155.20付近を中心とした狭いレンジ推移が続き、155.27レベルでクローズ。一方、ユーロドルは先述の予想を上回った米経済指標の結果を受け、ドル買いが先行する中、1.1582まで下落する。その後は下げ渋り、1.16台ちょうど付近まで戻す。午後は再度1.16台を割り込み、1.1593レベルでクローズ。

【昨日の指標等】						
Date	Time		Event		結果	予想
11月17日	08:50	日	GDP(年率/-・季調済・前期比)・速報	3Q	-1.8%/-0.4%	-2.4%/-0.6%
	08:50	日	GDPデフレーター(前年比)・速報	3Q	2.8%	3.1%
	13:30	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	9月	2.6%/3.8%	-
	18:00	欧	スレイペン・オランダ銀行総裁 講演	-	-	-
	22:30	米	NY連銀製造業景気指数	11月	18.7	5.8
11月18日	22:30	加	CPI(前年比/-)	10月	2.2%/165.3	2.1%/165.4
	00:00	米	建設支出(前月比)	8月	0.2%	-0.1%
	05:35	米	ウォラーFRB理事 講演	「労働市場は依然として弱く、失速寸前の状態」		
【本日の予定】						
Date	Time		Event		予想	前回
11月18日	15:30	日	高市首相・植田日銀総裁 会談	-	-	-
	22:15	米	ADP週次雇用統計	-	-	-



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.00-156.00	1.1550-1.1650	179.00-180.50

【マーケット・インプレッション】	
昨日のドル円は東京時間154.63レベルでオープンし、ロンドン時間にかけて高値圏でもみ合う展開が継続。NY時間では、発表された米11月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を上回ると、米金利の上昇を背景に買いが優勢となり、155.31まで上昇。しかし、その後は伸び悩み、155.10付近まで反落し、結局155.27でクローズした。 本日は15:30より、高市首相と日銀植田総裁の会談が予定されている。7-9月の実質GDP速報値が6四半期ぶりのマイナス成長を記録。高市首相は力強い経済成長の実現が自身の最優先目標の一つと強調しており、市場では政府が大型の補正予算を組むとの憶測が広がっている。高市首相が日本銀行の利上げに対する慎重な姿勢を緩める用意があるのかどうか注目される。米国においては、米政府機関は再開したものの、これまで閉鎖に伴う経済的影響や、FRBの利下げ期待の後退、株式市場を巡る懸念等については継続している状況。延期となっていた9月分の米雇用統計が11/20(木)に発表される。本日は米週次ADP民間雇用者数の発表が予定されている。前日の流れを引き継ぎ、本日のドル円は、本邦当局による介入を警戒しつつも日中は引き続き高値圏でもみ合いの展開となろう。海外時間では米週次ADP民間雇用者数の結果次第ではボラタイルな展開となる可能性あり、留意したい。	